

大門だより

No. 5
(431号)

荒川区立大門小学校
校長 野澤 一代
令和2年 7月 31日

大門小ホームページ

荒川区立大門小学校

検索

《本校の教育目標》 考える子 やさしい子 たくましい子

随時更新中!

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」

校長 野澤 一代

8月、葉月。葉月の由来は、木の葉が落ちる月「葉落ち月」という説があり、別名には「穂張り月（ほはりづき）」「初来月」（雁が始めて来る月）、「南風月（はえづき）」（南方から台風が来る）などがあります。

7月は新型コロナウイルス感染症発生に関しましてご心配をお掛けしました。また、様々ご協力いただきましてありがとうございました。学校では、今回、消毒等の対応のほかに、「心の対応」も行いました。

児童に向けて、指導資料「止めよう差別の感染 広めよう感謝の心」を配布し、学年の発達の段階に合わせて指導しました。保護者の方もご覧いただけただけでしょうか

この資料の中には、「3つの感染症」の話があります。第一の感染症は「病気そのもの」第二の感染症は「不安と恐れ」第三の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。この3つはつながっていると書かれています。

特に私が怖いと感じたのが第三の感染症「嫌悪・偏見・差別」です。

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのでしょうか。これは、「見えない敵（ウイルス）への不安」から「特定の対象を敵と見なして嫌悪の対象とし（敵がすり替わる）」、「嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざける」ことで本当の敵が見えなくなり、つかの間の安心感を得られるからです。特定の人・地域・職業などに対して「危険」「ばい菌」といったレッテルを貼る心理によって差別や偏見は起こるのです。

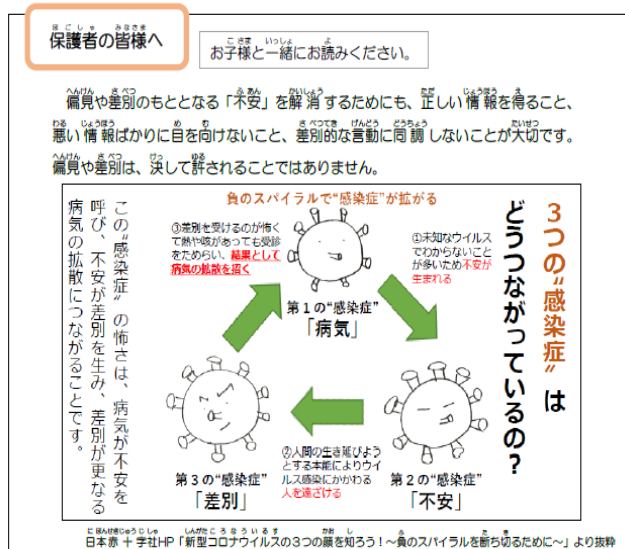
そうです。「いじめ」と同じ心理作用なのです。自分を守るために、相手に心身の苦痛を感じさせる「いじめ」と全く同じです。では、どうしたら第三の感染症を防げるのでしょうか。

- ① 「確かな情報」か吟味すること
- ② 差別的な言動に同調しないこと

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。一人一人のウイルスへの対応策（手を洗う、マスクをする、3密を避ける等）とともに、心の健康も整えていきたいものです。

学校は学校のできることを、常に先を見て行っています。保護者の皆様、地域の皆様もともにお願ひいたします。

(参考文献：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」)



◆お知らせ◆

現在、通常学級では各学級より個人面談を実施中です。今学期の学習の様子はこの個人面談でご説明させていただきます。1学期のあゆみの「学校より」の記載は致しません。その他、「あゆみ」についての今年度の変更点は、終業式に配布するお便りをご参照ください。よろしくお願ひいたします。